

令和5年度

# 事業計画書

公益財団法人 えどがわ環境財団

# 目 次

## 第1 概要

はじめに	2
運営方針と重点項目	3
事業体系	5

## 第2 機構と組織

財団の機構	6
事務局組織	7
職員数	7
施設概要	7

## 第3 事業計画内容

公益目的事業	8
1 水と緑・花の環境創造	
2 動物とのふれあい及び教育普及	
収益事業	16
1 サービス事業収益	

## 第1 概要

### ・はじめに

私たちの暮らしに不安や閉塞感をもたらしてきたコロナウイルス感染症は、感染者の減少やリスクの軽減等により、3月中には屋外でのマスク着用の自由化やイベント活動の行動制限が緩和されるとともに、5月には感染症法の位置付けが2類から5類への移行方針が示されています。令和5年度は、4年ぶりに様々な事業の本格的な活動が期待される、ウイズコロナの下での新たな出発の年となります。

そうした中、当財団も江戸川区が目指す「SDGsの推進と共生社会の実現」を活動の基本に据えるとともに、様々な知恵と行動力により、住民緑化の推進事業、動物とのふれあい事業を充実させ、区民生活に一層憩いと潤いをもたらすことができるよう、職員一丸となり全力を挙げて取り組んでいきます。

新年度の重点事業として、「区民と協働の花工房」を現在の1か所から3か所に拡大します。花とみどりを愛する区民の皆さんとの活動場所として多くの方に参加を呼び掛けるとともに、周辺の小学校などにも協力をいただきながら、緑の江戸川区の素晴らしさと当財団の存在意義を十分にPRしてまいります。また、小中学校での環境学習や学校ウェルカムガーデンを充実することにより児童生徒たちへの緑を愛する心を育てるとともに、学校という緑の拠点の充実を図ります。

動物とのふれあい事業では、昨年から本格的に始めた「ポニーを活用した小学校での生活科授業」は2年間で全ての小学校での実施を目指していきます。また、誰もが親しめる馬とのふれあいを目指し「ばかばかスクール(障害者乗馬)」の一層の普及に努めていきます。

自然動物園は、今年、開設以来40周年を迎えます。動物たちに身近にふれあえるという特色を活かし、行動展示など展示方法を工夫するとともに、希少種の繁殖にも積極的に取り組み、区民の皆さんに、より愛される動物園を目指してまいります。

今年11月に、「魔女の宅急便」でおなじみの児童文学作家・角野栄子さんの「魔法の文学館」がなぎさ公園に誕生します。その文学館の窓からは、なぎさポニーランド全体を望むことができます。多くの皆さんに文学館とポニーランドを利用していただきたく、これからも区民の皆さんの期待に応えていくよう事業運営に努めてまいります

## 運営方針と重点項目

### 運営方針

公益法人制度改革の主旨に則り、より公益的な自然環境分野の役割を担う団体として、江戸川区みどりの将来像でもある「水・緑、ともに生きる豊かな暮らし」の実現に向け、今後も区民と共に我がまちを誇りに思い愛着が持てる公益的取組みを進めます。また、区との連携をさらに強め、新たな環境創造の担い手として、真に区民に必要とされる公益法人運営を確立してまいります。

## 1 公益目的事業の取組みの発展・充実

### (1)公益目的事業1「水と緑・花の環境創造」

次世代を担う子供達や地域の人々に、江戸川区の水とみどりのまちづくりの歴史や花と緑の環境教育を行い、これからも自然豊かな生活環境に対する意識を高める緑化啓発とSDGsの推進をさらに前進させ、共生社会の実現を目指します。

#### 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

##### ウェルカムガーデン活動の推進と支援

学校の児童・生徒及び地域住民とともに、緑と花の大切さや連帯感を育む、花いっぱい運動や園芸福祉活動の推進を展開します。

##### 花とみどりの啓発事業

環境教育冊子「花とみどりと私たち」を使った学びの機会を、学校や地域へ出張訪問し展開するとともに、身近な自然環境(花や緑)を介しながら、SDGsをより理解する体験講座などの機会を提供します。

また、みどりの社会資本の多くを占める公園を舞台とした区の取組み、「みんなのこうえんプロジェクト」へ、積極的に参加します。

##### 緑化推進のPR(地域まつり等)

地域まつり等のイベントに参加し、区が半世紀にわたり積み重ねてきた緑化運動の取組みや成果を、広く多くの方へ伝えていきます。

##### 緑の3R(リサイクル・リユース・リデュース)の推進

区民が使わなくなった園芸土や鉢を回収し、再利用する活動を行うとともに、公園等の落ち葉堆肥化づくりの研究に取組むなど、緑の3R(リサイクル・リユース・リデュース)の啓発と環境保全を図ります。

#### 水と緑・花のシティプロモーション事業

##### わがまち えどがわのPR推進

わがまちへの愛着や誇りを抱く「シビックプライド」と「江戸川区ファン」を増やす取組みとして、外部団体と連携した「駅からハイキング」の企画・運営を行うとともに、魅力ある区内の「花の名所ポスター」を制作し、区内主要駅や施設等で紹介します。また、都立葛西臨海公園とはより深いパートナーシップを築き、花の名所づくりやイベント(水仙まつり・ひまわりプロジェクト)を連携して行います。

## (2) 公益目的事業 2 「動物とのふれあい及び教育普及」

動物とのふれあいを通して、児童・青少年の心身の成長の礎となる多様な実体験ができる事業を展開していきます。

### 動物の飼育及びふれあい事業

#### 自然動物園の展示・ふれあい業務

動物に直接触れることのできるふれあいコーナーを運営し、併せて動物の役割等を学べる機会を提供します。また、各イベント会場等に出向き、小動物を中心とした移動ふれあいコーナーを開設し、動物愛護の心を育てます。

#### ポニー乗馬・馬車・ふれあい業務

ポニー乗馬及び馬車を運営し、併せて「命の大切さ」を伝える情操教育の場を提供します。

#### 障害者乗馬業務

障害者の体験乗馬を運営し、障害の有無にかかわらず、馬に親しめる環境を推進します。

#### ポニーランドの出張乗馬

区内各地域で開催されるイベント・保育園・区内公園等において移動ポニーを実施し、動物への愛護心を育てます。

### 教育普及事業

#### 動物出張授業

学校・保育園等に出向き、動物を持ち込み、ふれあい体験することで命の大切さや思いやりの心を育みます。さらに、学校教育との連携による小学校の生活科授業等を行い教育普及活動を推進します。

#### 小学校飼育動物の飼育指導

小動物を飼育する小学校へ直接出向き、児童等に適切なアドバイスを行い、飼育に関する意識と知識を育てます。

## 2 財務基盤の確立

### 収益事業による公益財源の確保及び効果的な活用

- ・ 現行の物品販売サービスの見直しや財団ホームページへの広告掲載等積極的な協力依頼を行い、収益力の向上に取組み、公益財源の確保に努めます。

## 3 組織体制の強化

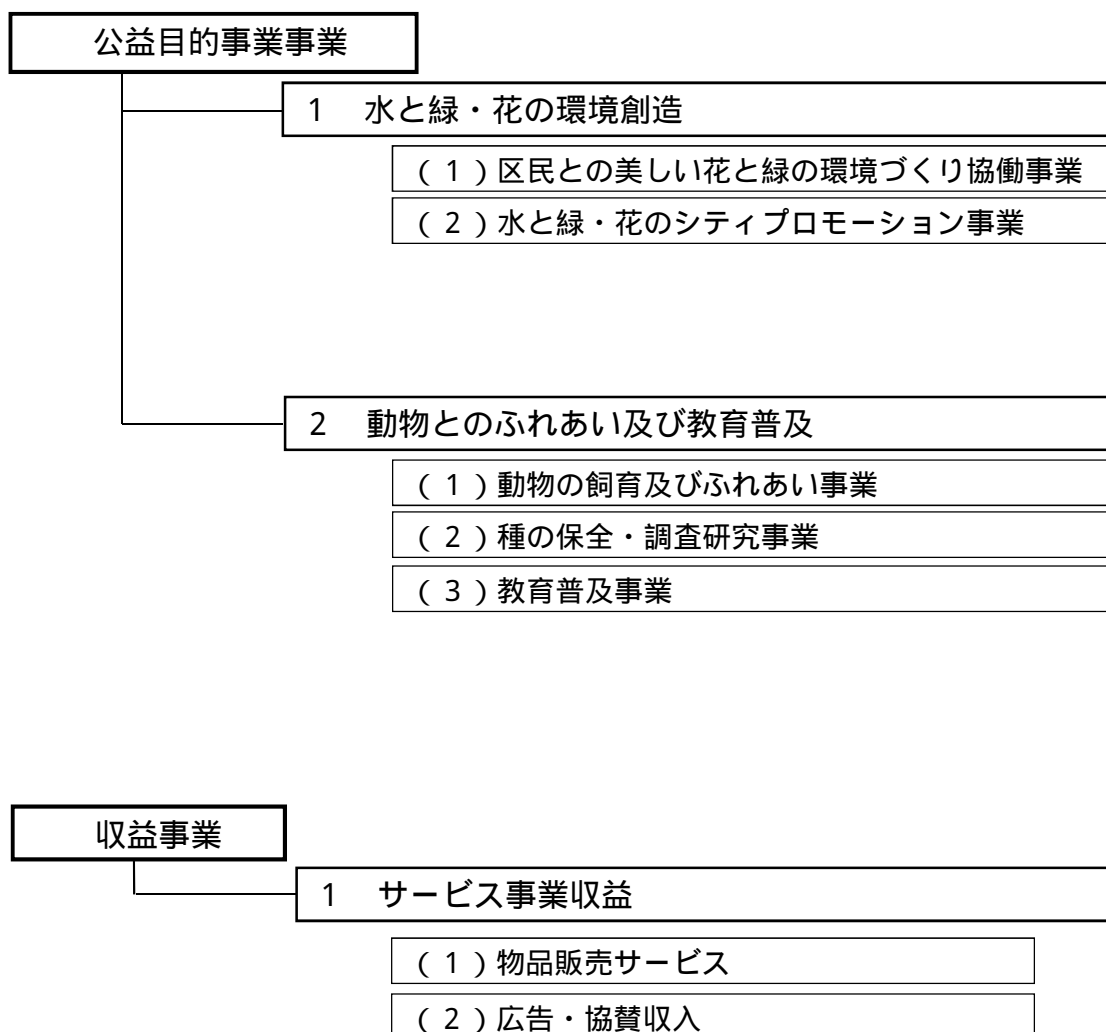
### 人材の有効活用

- ・ 「環境創造」団体の職員としての専門性や基本スキルの向上に努めます。
- ・ 公益財団法人としてコンプライアンス（法令遵守）の強化に取組みます。

## 事業体系

当財団は、明るく豊かな地域社会の構築をより一層推進するために、“水と緑・花の環境創造”を掲げ、今後ますます多様化・複雑化する区民ニーズにきめ細かく対応してまいります。

### <令和5年度>



## 第2 機構と組織

### 財団の機構

財団の機構は、公益財団法人として定款に定められた役員及び評議員を置き、理事会及び評議員会を組織し運営している。

#### 【役員】

理事：5名

理事長は、代表理事としてこの法人を代表し、その業務を執行する。

専務理事及び常務理事は、業務執行理事として理事長を補佐し、この法人の業務を分担執行する。

監事：2名

この法人の業務並びに財産及び会計の状況の監査等定款第33条に規定する職務を行う。

#### 【理事会】

すべての理事をもって構成し、業務執行の決定、規程の制定及び改廃、その他財団の運営に関する事項の決定等法令や定款で定められた職務を行う。

#### 【評議員】

7名

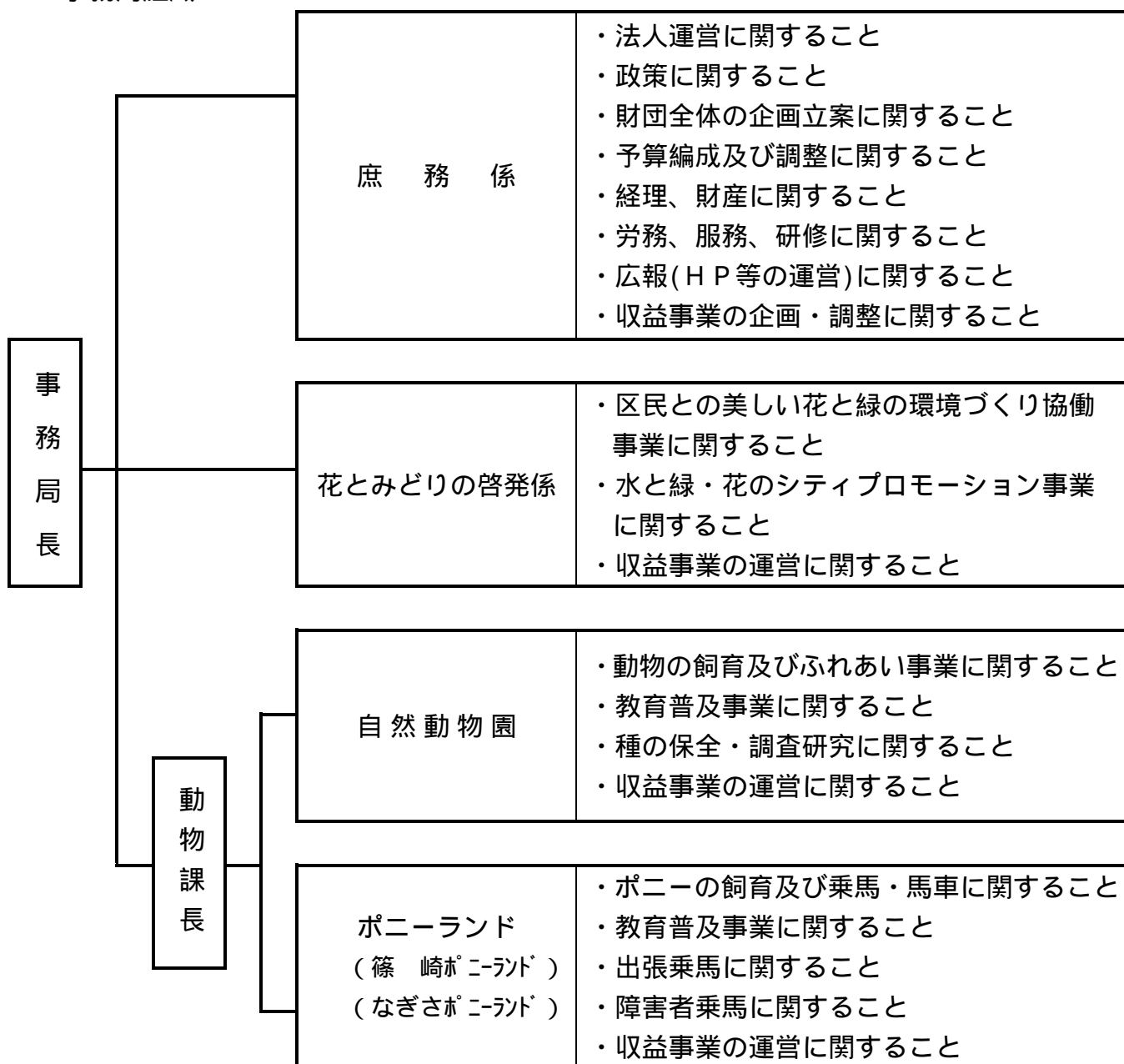
評議員会会長、評議員会副会長を、それぞれ1名置き、評議員会会長は、評議員会の議事を整理する。

評議員会副会長は、評議員会会長を補佐し、評議員会会長に事故があるとき、又は評議員会会長が欠けたとき、評議員会会長の職務を代行する。

#### 【評議員会】

すべての評議員をもって構成し、理事及び監事の選任又は解任、役員に対する報酬等の額、貸借対照表及び損益計算書の承認、定款の変更等法令又はこの定款で定められた事項を決議する。

事務局組織



職員数(人)

令和5年4月1日

固有職員			区派遣職員	合計
職員	再任用	計		
45	14	59	1	60

施設概要

名称	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	休園日	備考
自然動物園	北葛西3-2-1	4,900.00	月曜日	動物:57種 630点
篠崎ポニーランド	篠崎町3-12-17	14,937.26	月曜日	ポニー10頭
なぎさポニーランド	南葛西7-3	5,000.00	月曜日	ポニー8頭、ヤギ2頭



### 第3 事業計画内容

#### 公益目的事業

#### 1 水と緑・花の環境創造

##### (1) 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

**予算額：【5,881千円】**

(自主財源 2,045千円を充当)

(区補助 3,836千円を充当)

事業経費を記載(人件費除く)

区が半世紀にわたり築いてきた「水と緑の環境」の価値をさらに高めるとともに、区民の我がまちに対する「誇り・愛着」「ゆたかな心」を育む啓発活動の取組みを推進し、花やみどりがあふれる共生社会づくりを目指します。

#### 内 容

##### 1) ウェルカムガーデンの活動の推進

住民と一体となって、身近なみどりの大切さや育てる楽しみを育む「花いっぱい運動」の支援と普及啓発の拡大を図ります。また、町会・自治会はもとより、福祉・子育て施設などとの連携を働きかけ、花いっぱい運動と連動した「地域見守り活動」、「園芸福祉活動」に繋げていきます。

【場 所】区内小・中学校の花壇、町会・自治会、商店会、福祉・子育て施設ほか

【対 象】児童・生徒・学校応援団、地域住民

【内 容】花壇整備(簡易)、草花の提供、環境学習、緑化相談(アドバイス)

##### 2) 花とみどりの啓発事業

江戸川区の緑化史や、未来に向けた花とみどりの環境教育を行います。また、公園を舞台とした、地域で育む「みんなのこうえんプロジェクト」にも引き続き、当財団の緑の社会貢献ボランティア「花とみどりの応援団」とともに協力し参加します。

【主な内容】

花とみどりの環境学習

【会 場】区内の小学校ほか

【対 象】主に4年生以上の児童・生徒

【内 容】みどりのまちづくりの歴史や、花や緑の大切さ、育て方等を財団職員が環境教育冊子「花とみどりと私たち」を活用し環境学習を行います。

【そ の 他】出張講座としても実施(町会・自治会、商店会、図書館・福祉施設、等)  
花と緑の大切さや育て方、緑豊かな江戸川区の歴史を学べる機会を提供。

花と緑でSDGsを学ぶ講座(2講座)

・花鉢アレンジサービス&ワンポイントレッスン

年8回 有料(材料費)

・夏休み自由研究教室 年1回 有料(教材費)

「みんなのこうえんプロジェクト」への参加 環境財団「花とみどりの応援団」の活動促進

【会 場】小岩公園ほか

### 【主な内容】

地域主体で持続可能な公園利活用モデルのデモンストレーションや活動サポート  
公園を取り巻く町会や各種団体への説明と地域特性に合わせた利活用の助言  
我がまちの花の名所づくり(ガーデニングや苗木植樹、落ち葉の腐葉土づくり等)  
イベントを介したコミュニティづくり(お花見や収穫祭、防災・炊出し訓練等)  
世代間交流づくり(プレーパークや昭和の昔遊び等)

### 3) 緑化推進PR

地域まつり等のイベントに参加し、半世紀にわたり積み重ねてきた緑化運動の取り組み  
や成果を広く伝えていきます。 《 区民まつり等、15 イベントに参加 》

### 【主な内容】

緑化相談会や花とみどりの名所紹介による緑化推進活動  
緑の3R事業で再生した鉢や土、緑化啓発用に栽培した草花・苗木等の配布  
家庭で使わなくなった園芸土や鉢の受入れなど

### 4) えどがわ“花いっぱい運動”のつどい ~進めようSDGs~ (第7回)の開催

当財団の緑の社会貢献ボランティア「花とみどりの応援団」の活動を紹介し、区民一人  
ひとりが実践を始めるきっかけづくりとして“花いっぱい運動”のつどいを開催します。

【日 程】10月予定(「秋の公園フェスティバル」東京都公園協会主催と同日開催)

【会 場】都立葛西臨海公園

【内 容】花とみどりの応援団による体験や展示会、ウェルカムガーデン事例紹介、等

### 5) 区民と協働で進める花工房(苗圃)の運営

新たに鹿骨地区で拠点を設け、区民と協働で緑化啓発用の草花・苗木を育て、区民の  
みどりの愛護心のさらなる高揚と花や緑を介した地域コミュニティの醸成を図ります。

<新設> 鹿骨第一花工房(鹿骨1-49) 面積:523 m<sup>2</sup>

<新設> 鹿骨第二花工房(鹿骨1-41) 面積:501 m<sup>2</sup>

<既設> 平井わかばと花工房(平井6-1-17) 面積:743.28 m<sup>2</sup> (平井わかばと公園隣地)

### 【主な内容】

草花・苗木の栽培(イベント等で無料配付・産地直売(収益))

育苗・用土づくり等の体験(菊・紫陽花の挿し芽や腐葉土教室・収穫体験など)

リサイクルヤードとして、植木鉢や園芸土を再生します。

### 6) 緑の3R(リサイクル・リユース・リデュース)の推進

区民が不要になった植木鉢や園芸土を回収し、再利用する活動をはじめ、落ち葉の堆  
肥づくりの研究に取り組み、緑のもったいない運動の啓発と環境保全を図ります。

(2) 水と緑・花のシティプロモーション事業

予算額：【2,163千円】

(自主財源 333千円を充当)

(区補助 1,830千円を充当)

事業経費を記載(人件費除く)

花や緑、水辺環境の愛護心の啓発に努めるとともに、区民の我がまちへの愛着や誇りを抱く「シビックプライド」と「江戸川区ファン」を増やす取り組みを行い、「水と緑・花のまち えどがわ」を区内外へ発信します。

内 容
1) 「水と緑・花のまち えどがわ」PR 花の名所ポスターによる主要駅や施設等での紹介(桜・ツツジ・花菖蒲) デザインは区内専門学校との「コラボレーション」制作 各ポスターは花の見ごろに合わせ主要駅に掲示 インターネット(SNS)を使った情報発信 ・web版「ぶらり“えどがわ”桜旅ガイド」及び「えどがわツツジムラサシ」の配信 ・区民からの「みんなの花とみどりのアルバム」投稿の配信
2) えどがわ“花の風物詩”夏「ひまわり de 元気と笑顔プロジェクト」 区内の夏の風物詩として、ひまわりの種子配布及び展示を行い、花のまちづくりを区内外へ伝えるとともに、区民の我がまちへの愛着や誇りを高めます。 【概要】 種子袋の配布：区内の児童・福祉施設(約400箇所) ・配布期間：令和5年5月下旬～6月上旬 ・配布先：配布可能な施設から順次 ・配布数：2,000袋(1施設あたり5袋程度) ひまわりの展示：都立葛西臨海公園・本庁舎前庭・駅前広場、等 ・展示期間：令和5年7月中旬～9月上旬 ・栽培規模：プランター200基、400株
3) 「駅からハイキング」の実施 JR東日本主催の「駅からハイキング」とタイアップし、区内のJR駅を起点とする「水と緑、花のまち えどがわ」の魅力が満喫できるウォーキングを開催し、都会の自然を区内外の多くの方へPRします。 【JR小岩駅コース】 タイトル：ぶらり小岩 下町情緒と花菖蒲の名所を訪ねる 開催日：令和5年6月9日(金)～18日(日)の10日間  【JR葛西臨海公園駅コース】 タイトル：Big City Tokyo! さくらの回廊に行く in えどがわ 開催日：令和6年3月23日(土)～31日(日)の9日間

## 2 動物とのふれあい及び教育普及

### (1) 動物の飼育及びふれあい事業

予算額：【117,217 千円】

(区委託料 117,217 千円を充当)

事業経費を記載(人件費除く)

動物とのふれあいを中心に魅力的な展示を行うための展示計画を策定し、国内の動物施設等と連携して動物の交換・貸借の調整や動物収集等を行うなど、多様な動物の保全に努めるとともに、動物との出会いを通じて感動や喜び、安らぎを提供します。

内 容	
1) 自然動物園の展示・ふれあい業務	誰もが安全に、身近に楽しく動物を見学できるよう、日々、展示の工夫を行います。また、「動物にも優しい動物園」を目指し、動物福祉を重視した適切な飼育環境に努めます。ふれあいコーナーでは、ウサギやモルモットなどの小動物に直接触れたり、抱いたりすることで、「命の大切さ」を感じる場を提供します。
2) 自然動物園の出張動物	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント等に小動物を中心とした移動ふれあいコーナーを開設します。動物とのふれあいの機会を提供することにより、動物への愛護心を育てます。 地域イベントへの出張 (4回)
3) ポニー乗馬・馬車体験	両ポニーランドでは小学生までのお子さんを対象にポニー乗馬を、篠崎ポニーランドではご家族で楽しめる馬車を運行し、馬との出会いを通じて感動や喜び、安らぎを提供します。 ポニー乗馬 篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド 【開催日】 随時 【対 象】小学生以下 馬 車 篠崎ポニーランド 【開催日】 随時
4) ふれあいコーナーの運営	なぎさポニーランド ヤギにふれあい、家畜としての役割、命の大切さ等を学べる機会を提供します。 【開催日】 随時
5) ポニーランドの出張乗馬	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント等にポニーコーナーを開設して出張乗馬を行うとともに、公園等において移動ポニーランドを開設して出張乗馬を行い、馬とのふれあいを通じ、感動や喜び、安らぎを提供します。 地域イベント等への出張 (5回) 移動ポニーランド (小学校生活科授業数により回数を調整)

(2) 種の保全・調査研究事業

**予算額：【179千円】**

(区委託料 179千円を充当)

事業経費を記載(人件費除く)

動物の生態系保全に貢献することを目的に、自然動物園で保有する動物の生態等の調査研究や絶滅危惧種や希少種等の保全のための取組みを、関係機関や大学等と連携し行います。また、その成果を広く来園者等に周知します。

内 容
1) 種の保全業務 種の累代飼育 シロビタイムジオウム・フンボルトペンギン・ワタボウシタマリン・ ホウシャガメ(CITES I類)・オタリア・オオアリクイ(国内血統登録種) クロツラヘラサギなど CITES:ワシントン条約 日本産希少生物の保全 ニホンコウノトリなど
2) 調査研究業務 マダガスカル産カメ類の繁殖システムの解明 爬虫類専門動物病院と共同研究

(3) 教育普及事業

**予算額：【744千円】**

(自主財源 24千円を充当)

(区委託料 720千円を充当)

事業経費を記載(人件費除く)

動物の生態を身近に観察し学ぶことにより、生命の尊さや地球環境の重要性を感じる体験を提供するとともに、学校教育との連携による小学校での生活科授業等を実施します。

内 容
1) ふれあい体験教室・講座講習会の開催 【自然動物園】 ヒツジの毛刈りショー 羊の毛刈り・子どもたちの毛刈り体験・クイズ・パネル展示・フェルトボールづくり等を行います。 【開催日】 5月(1回)
サマースクール 子どもたちに動物舎の清掃や給餌等、飼育係の仕事の一部を体験してもらうとともに、飼育係と獣医師が動物の生態・健康診断・治療についてのお話を行います。 【開催日】 7月(4回) 【対象】 区内小学3年~6年生
親子一日飼育体験教室 親子の絆を深められるようなプログラムに設定し、親子共同での飼育作業等を行います。また、動物のエサやり体験や動物の健康診断・爬虫類に関する講義等を行い、

親子で動物についての知識を得られる内容とします。

【開催日】 9月(4回)

【対象】 区内小学1、2年生とその保護者

#### 動物園のうらがわ探検

普段は見るできない動物舎や診療室、調理室、飼料庫等のバックヤード見学(裏側見学)を行い、動物園というものを理解しやすいように解説します。

【開催日】 5月・9月(全2回)【対象】 小学生以上

#### 動物写真講座

プロカメラマンによる写真技術の講義の後、動物園内で実技実習を行い、動物を観察し撮影する楽しさを学んでいただきます。

【開催日】 5月(1回)

【会場】 自然動物園及び北葛西コミュニティ会館

#### 飼育係、獣医師のおはなし

野生での状況や図鑑等では学べないこと等を、飼育係や獣医師が展示場の前で解説を行います。また、自然動物園では、おはなしスタンプラリーを開催し、楽しみながら学べるプログラムとします。

【開催日】 毎週土・日、祝休日

#### もぐもぐタイム

飼育係が展示場で動物にエサを与え、食べる姿を見ながら解説することにより、動物への理解や親しみを深める機会を提供します。

【開催日】 随時

#### 動物出張授業

##### < 小学校出張授業 >

小学校1・2年生の生活科授業へ出張し、小学校と連携を図り、動物の貸出飼育体験等を通じ、生き物と直接ふれあい、生命の大切さや思いやりの心を育てる学びの機会を提供します。

【開催日】 随時

【対象】 17校

##### < 小学校飼育動物の飼育指導 >

区内小学校へ出張し、ウサギ等の飼育動物に関して飼育委員会の生徒等に適正な飼育管理のアドバイスを行うとともに、責任を持って生き物を飼うという意識を育てます。

【開催日】 不定期

【会場】 区内小学校

##### < 出張講座 >

図書館等の施設に出向き、動物の生態や動物園での飼育の工夫、エピソード等を交えた楽しく学べる講演を行います。また、ウサギ・モルモット・チャボとのふれあいも行います。

【開催日】 不定期

【会場】 図書館・子ども未来館等区内施設

## 【ポニーランド】

サマースクール なぎさポニーランド

ポニーのお世話や乗馬体験を通して生態や飼育法を学び、動物への愛着を高め情操教育の機会を作ります。

< 子供コース >

【開催日】 7月～8月(3回) 【対象】 小学4年～6年生

< 親子コース >

【開催日】 7月～8月(2回) 【対象】 小学1年～3年生とその保護者

小学生乗馬体験会 なぎさポニーランド

乗馬の体験を通して、感動や喜びを提供します。

【開催日】 不定期 【対象】 小学1年～6年生

障害者乗馬 篠崎ポニーランド

障害のある方に馬と接していただき、ふれあいや乗馬体験を通じて、感動や喜びを提供します。

< 障害者乗馬スクール (ぱかぱかスクール) >

【開催日】 不定期 【対象】 障害のある小学1年～6年生

< 障害者乗馬体験会 >

【開催日】 不定期 【対象】 子どもコース

障害のある小学1年～6年生

家族コース

障害のある小学1年～6年生とその家族

< 障害者団体乗馬体験会 >

【開催日】 申込団体と調整

馬に関するイベントの誘致

障害者乗馬・馬術等、馬に関する認識を広め、ポニーランドの認知を高め利用促進を図るため、区内はもとより国内に発信できるイベントを誘致し開催します。

【会場】 篠崎ポニーランド

装蹄師のおはなし

普段見ることのできない装蹄・削蹄の現場を見学し、装蹄師による馬の解説を行います。

【開催日】 年2回 【会場】 篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド

動物出張授業

< 小学校出張授業 >

小学校1・2年生の生活科授業へ出張し、小学校と連携を図り、馬を介し、動物への

理解を深め、生命の大切さや思いやりの心を育てる学び・ふれあい・乗馬する機会を提供します

【開催日】 随時      【対 象】 35校

## 2) 啓発イベントの開催

### 【自然動物園】

フンコロジー “フンで花を咲かせよう”

草食獣の反芻(はんすう)の仕組み、自然界での栄養循環をわかりやすく解説します。また、動物達の糞で花を種から育ててもらい、糞の役割を実感してもらいます。

【開催日】 4月(1回)

### 愛鳥週間イベント

飼育係・獣医師により、身近な野鳥に関するパネル展示や鳴き声クイズなどを行ない、自然環境についても考えていただけるような企画を実施します。

【開催日】 5月(1回)

### 動物愛護週間イベント

動物愛護に関する標語コンクールの募集を行うとともに、動物愛護に関するパネル展示を行います。併せて飼育係・獣医師によるお話しをすることにより、動物との共存の大切さ等の理解を深めていただく内容とします。

【募集期間】 7月      【開催日】 9月

仮称)自然動物園創立40周年記念「今と昔」フォトギャラリー  
昭和58年開園当時から今現在までの写真の展示

【開催期間】 10月～11月

【会 場】 区民施設等

## 3) 利用促進・PR業務

動物たちの飼育情報やイベント情報をホームページや区広報を活用し広くお知らせします。また、ウェブサイトを充実し、各施設の魅力をタイムリーに発信していきます。

## 4) 研修支援・人材育成(飼育実習生等の受け入れ)

飼育係を目指す学生たちに自然動物園やポニーランドでの実習を通して、知識や技術だけでなく、組織人・企業人としてのマナー、コミュニケーション等も体験できるよう実施します。

### 【自然動物園、ポニーランド】

実習生・研修生の受け入れ

学校教育の一環として実施される各種動物の飼育または診療業務の実習を大学などの要請により受け入れます。

【開催日】 随時      【対 象】 高校生・専門学校生・大学生



### 職場体験・チャレンジ・ザ・ドリームの受け入れ

区内外の職場体験事業に積極的に協力し、動物飼育業務の実体験プログラムを実施します。

【開催日】 随時           【対 象】 小学生・中学生

### 学習職場訪問の受け入れ

社会科・生活科学習などの一環として、飼育施設の説明や飼育の仕方などの動物飼育職場のお話しを、学年に合わせた内容で実施します。

【開催日】 随時           【対 象】 小学生・中学生・高校生

## 収益事業

### 1 サービス事業収益           【収益 9,308 千円 費用 5,475 千円】(利益見込額 3,833 千円)

事業運営によって得られた収益は、公益目的事業会計に繰り入れ、事業等を通じて区民に還元します。

#### (1) 物品販売サービス

えどがわ百景カレンダー500 円、動物カレンダー(壁掛け)400 円・(卓上)500 円、草花・苗木、自然動物園創立 40 周年記念グッズ等の販売を実施します。

#### (2) 広告・協賛収入

ホームページバナー広告料月 3,000 円等の広告協賛収入事業を実施します。